

**製品名: GTPase HRAS (1G13) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe11844**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:50-1:100
分子量	21kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HRAS GTPase HRas; H-Ras-1; Ha-Ras; Transforming protein p21; c-H-ras; p21ras; HRAS; HRAS1;
別名	GTPase NRas; Transforming protein N-Ras; NRAS; HRAS1; GTPase KRas; K-Ras 2; Ki-Ras; c-K-ras; c-Ki-ras; GTPase KRas; KRAS; KRAS2, RASK2
遺伝子 ID	3265.0
SwissProt ID	P01112
免疫原	ヒト GTPase HRAS の合成ペプチド

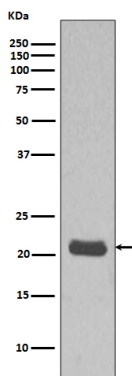
## 背景

KRAS 遺伝子は、キルステンラット肉腫ウイルスから単離された形質転換遺伝子のヒト細胞相同遺伝子をコードしています。RAS タンパク質は、細胞内シグナル伝達因子として機能する GDP/GTP 結合タンパク質です。RAS (「Rat 肉腫」ウイルス由来) 遺伝子ファミリーの中で最もよく研究されているメンバーには、KRAS、HRAS、NRAS があります。これらの遺伝子は、分子量 21kD の免疫学的に関連するタンパク質をコードし、形質転換能を持つげっ歯類肉腫ウイルス遺伝子の相同遺伝子です。Ras タンパク質シグナル伝達の活性化に関与しています (PubMed:22821884)。Ras タンパク質は GDP/GTP に結合し、固有の GTPase 活性を有しています (PubMed:12740440、PubMed:14500341、PubMed:9020151)。

## 研究分野

-

## 画像データ



HRAS 抗体を使用した MCF7 細胞溶解物のウェスタン ブロット分析。